

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	健康情報活用基盤実証事業等経費	事業開始年度	①平成20年度 ②平成21年度 ③平成22年度			作成責任者
担当部局庁	医政局	担当課室	政策医療課 医療技術情報推進室			室長 山本 要
会計区分	一般会計	上位政策	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助	関係する計画、通知等	平成18年1月:IT新改革戦略 平成19年3月:医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成20年8月:重点計画2008 平成21年4月:デジタル新時代に向けた新たな戦略~三カ年緊急プラン~ 平成21年7月:i-japan戦略2015			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>①健康情報活用基盤実証事業 電子化される健康情報の高度利活用を図るため、医療・健診等におけるデータの相互利用をはじめとする情報共有のための方策や、個人の健康情報を有効に活用するための方策等の実証にとりくむもの。</p> <p>②ユビキタス健康医療技術推進事業 医療の安全性向上や医療従事者の業務負担の軽減に資する電子タグ等のユビキタスネットワーク技術の活用による医療の安全性向上等に関する効果及び課題を検証し、医療現場での有効性を調査する。</p> <p>③医療における公開鍵基盤(HPKI)利用促進検討事業 医療機関等において安全を確保しつつ円滑な電子的診療情報を送受信するため、その内容が改ざんされていないか、本人に間違いがないかなどを担保できる仕組み(HPKI)の整備を行っているところであり、その普及・定着を促進する。</p>					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>①健康情報活用基盤実証事業 個人が、電子化される健康情報(医療・健診等データ)を活用できる基盤を整備し、沖縄県浦添市において実証を行っている。</p> <p>②ユビキタス健康医療技術推進事業 医療の安全性向上や医療従事者の業務負担に資するよう、電子タグ等のユビキタスネットワーク技術を活用したモデル事業を総務省において実施し、総務省において選定された事業を導入した場合の、医療機関や医療従事者の視点で有効性等について分析を行うもの。</p> <p>③医療における公開鍵基盤(HPKI)利用促進検討事業 医療機関等において安全を確保しつつ円滑な電子的診療情報を送受信するため、その内容が改ざんされていないか、本人に間違いがないかなどを担保できる仕組み(HPKI)の整備を行っているところであり、そのHPKIの普及・定着を促進するためのモデル事業を実施するもの。</p>					
実施状況	<p>①健康情報活用基盤実証事業 平成20年度から、沖縄県浦添市において3カ年の国庫債務負担行為で実施しており、個人が日々の健康情報を蓄積する仕組みを構築し、現在300名程度が加入しているところ。</p> <p>②ユビキタス健康医療技術推進事業 ユビキタス点滴注射台や電子タグによる医薬品管理など、秋田大学及びNTT関東東病院で実施し、有効性について検証を行った。</p> <p>③医療における公開鍵基盤(HPKI)利用促進検討事業 平成22年度からの事業</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	122	171	189	18
	執行額	—	122	163		
	執行率	—	100.0%	95.3%		
	総事業費(執行ベース)	—	122	163		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業終了後、委託先から提出された実績報告書に基づき、全ての経費について支出先、用途をチェックしている。したがって、事業目的の実現や効果の観点からの検証は行われている。				
	見直しの余地	予算額と執行額の乖離の理由を分析の上、予算要求の方法について改善していく点がある場合には、的確に予算に反映してまいりたい。				
予算監視の効率化	本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

①健康情報活用基盤実証事業

厚生労働省
151百万円



【公募:3カ年の契約】

A.浦添市
151百万円

(個人が医療・健康情報を活用できる仕組みをモデル的に実証する。)



B.日本システムサイエンス(株)
150百万円

(システム開発・運用等)

②ユビキタス健康医療技術推進事業

厚生労働省
11百万円
ユビキタスネット技術の実証に対し、
医療機関の視点で分析する



【随意契約】

C.独立行政法人 秋田大学
2百万円

(ユビキタス点滴台の有効性の調査分析)



【随意契約】

D.NTT東日本関東病院
9百万円

(電子タグによる医薬品管理などの
有効性の調査分析)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.浦添市			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	システム開発・運営・実証事業経費	150			
旅費	委員会出席旅費	1			
計		151	計		0
B.日本システムサイエンス(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
開発等経費	システム開発・運用経費	150			
計		150	計		0
C.国立大学法人秋田大学			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費等	消耗品・作業収集経費	2			
計		2	計		0
D.NTT東日本関東病院			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	非常勤職員給与	4			
謝金	有識者の招聘経費等	2			
消耗品費	消耗品	2			
旅費等	有識者の招聘経費等	1			
計		9	計		0

①健康情報活用基盤実証事業

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求	
予算の状況 (単位:百万円)	予算額(補正後)	-	122	151	159	0
	執行額	-	122	151		
	執行率	-	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	-	122	151		

②ユビキタス健康医療技術推進事業

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求	
予算の状況 (単位:百万円)	予算額(補正後)	-	-	19	18	18
	執行額	-	-	11		
	執行率	-	-	57.9%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	11		

③医療における公開鍵基盤(HPKI)利用促進検討事業

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求	
予算の状況 (単位:百万円)	予算額(補正後)	-	-	-	12	0
	執行額	-	-	-		
	執行率	-	-	-		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		